

SimDiff と PTC Integrity を統合するには

目次

はじめに	2
PTC Integrity Client を設定する	2
IntegrityClientSite.rc を設定する	2
SimDiff を差分ツールとして設定する	3
SimDiff をマージツールとして設定する	3

はじめに

注意- この操作手順は、PTC Integrity 2009 以上に対応しています。SimDiff と PTC Integrity 2009 以前のバージョンの統合を希望する場合には、お手数ですが EnSoft Support までご連絡ください。

PTC Integrity Client の差分およびマージツールのカスタム設定を指定することで、SimDiff と PTC Integrity を統合することができます。設定方法については、以下の操作手順に従ってください。

PTC Integrity Client を設定する

PTC Integrity Client では、2 種類の方法で差分/マージツールのカスタム設定を実行できます。

1. [設定] メニューからカスタムツールを指定する ([ファイル] メニュー > [設定の編集...] > [構成管理] > [差分/マージツール])
2. PTC Integrity Client インストール先に保存されているファイル、IntegrityClientSite.rc を変更する

拡張子をもとに差分およびマージツールを指定できるため、上記のうち 2 番目のオプションを推奨します。これによって、SimDiff をモデルファイルに対してのみ起動できます。

IntegrityClientSite.rc を設定する

以下の手順に従って、IntegrityClientSite.rc ファイルを設定してください。

1. システムトレイで PTC Integrity Client のアイコンを右クリックして、[終了] を選択し、PTC Integrity Client を閉じます。
2. PTC Integrity Client のインストール先から、IntegrityClientSite.rc を探してメモ帳などのテキストエディタで開きます。
3. 必要に応じて内容を変更し、上書き保存します。
4. PTC Integrity Client を再起動します。

IntegrityClientSite.rc ファイルでは、あらゆるプロパティが指定されており、セクションごとに分かれています。SimDiff の統合に必要なセクションは、[Difference Tools] と [Merge Tools] のみです。

以下の設定ファイルのプロパティに関する説明では、以下の設定コマンドに関する説明では、SimDiff がデフォルトのインストール先に保存されていることを前提としています。別のフォルダにインストールされている場合には、必要に応じてプロパティを変更してください。

SimDiff を差分ツールとして設定する

以下の内容を IntegrityClientSite.rc の [Difference Tools] セクションに、追加してください。

```
diffTools.simdiff.title = SimDiff, EnSoft Corp.  
  
diffTools.simdiff.extension = mdl,slx  
  
diffTools.simdiff.commandLine = "C:\\Program  
Files\\EnSoft\\SimDiff\\simdiff4.exe" -l "{3}" -r "{4}"
```

SimDiff をマージツールとして設定する

以下の内容を IntegrityClientSite.rc の [Merge Tools] セクションに、追加してください。

```
mergeTools.simdiff.title=SimDiff, EnSoft Corp.  
  
mergeTools.simdiff.extension=mdl,slx  
  
mergeTools.simdiff.commandLine="C:\\Program  
Files\\EnSoft\\SimDiff\\simdiff4.exe" -b "{4}" -l "{6}" -r "{5}"  
-o "{8}"
```